１．　環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	9	事例№	8	依頼者	名古屋市立八幡小学校 トワイライトルーム	実施場所	名古屋市立八幡小学校 トワイライトルーム
実施対象	小学 2 年生～4 年生　26 名						
実施日時	令和 7 年 8 月 28 日（木）14 時 00 分～15 時 00 分						
テーマ	ペットボトルのリサイクルについて学ぶ						

●依頼内容

夏休みの自由研究のテーマとなるような環境問題への取り組みについて、小学生の親子で楽しく学ぶ環境学習講座の講師および企画内容の提案。

●講師：村瀬政彦 氏（愛知県地球温暖化防止活動推進員、あいち eco ティーチャー）

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」、「あいち eco ティーチャー」にも登録されている。

●授業の内容

講義	講義は、ペットボトルのリサイクルをテーマに、スライドを使いクイズをまじえながら行われた。はじめに、私たちの身のまわりで使われているプラスチックにはどんなものがあるのかについて学んだ。つづいて、身近なプラスチックであるペットボトルがどのような流れで回収され、どんなものに再利用されているのかについて学んだ。最後に、講師からペットボトルは大事な資源なので、ごみとして捨てるのではなくリサイクルしようと呼びかけられた。	30 分
工作	使用済みのペットボトルを再利用して、「やわらカー」づくりに取り組んだ。2 本の竹串にペットボトルのキャップ（中央に穴をあけた上で配布）をそれぞれ 2 個ずつ通して車の前輪、後輪をつくった。次に、ペットボトルの側面を切り落として車体をつくり、短く切ったストローに前輪と後輪を通して、「やわらカー」を完成させた。	30 分

●授業の様子

ペットボトルのリサイクルについて学ぶ講義では、子どもたちは床にすわってリラックスした様子で講師の話を聞いていた。講師からクイズが出されると、たくさんの子どもたちが元気に手を上げていた。使用済みのペットボトルを使った「やわらカー」の工作では、キャップに竹串をさすところに苦労しながらも一生懸命取り組んでいた。「やわらカー」が完成すると、車体に好きな色をぬったり、2 個目の車づくりに挑戦したりしていた.

ペットボトルのリサイクルについて学んだ。



ペットボトルを使って「やわらカー」をつくった。

